



■ 校長室の窓辺より ■

人を人間に育て上げる

大学で教育学を学び始めて、かれこれ四十余年。万人の認める正解が無い中で、「人を教育する」とは何かを問いつづけ、日々、子どもたちの教育指導に携わってきました。大学3年のゼミナールでお世話になった、日本教育史、教育哲学が御専門の先生は、私たちゼミ生に「教育とは、ヒト科の動物を『人間』に育てる営み。『人間』とは、徳を備えた社会的存在。それ故、『人間』とは、人の間に存在すると書くのです」と解かれました。

過日、栃木県足利市で開催された道徳教育研究会に出向くこととなり、合間の時間を使って、日本最古の「学校」と言われる「足利学校」を訪れました。学校の入口の門には、紀伊徳川11代藩主徳川斎順の書による「入徳」と記された扁額が掲げられていました。初学者の学びは、まず徳を高めることから始まるとされ、それ故校門に「徳の道に進む」を意味する「入徳」の文字が掲げられているのだそうです。色々な出来事の対応に追われる日々を過ごす中で、教育という営みの本質を考える時間を失っていただけに、しばしその扁額に見入りました。



【足利学校 の扁額】

さて、このようなことを考える中で、11月17日金曜日に、元文部科学省視学官・現國學院大学初等教育学科教授の田村 学先生をお招きして、これからの教育に求められる能力と、そのような能力を育むための授業について、校内研究会を行いました。その中で、先生は、従来は「反復」に代表される「暗記」が重視されてきたけれども、生成AIが普及するこれからの社会に置いては、従来のような知識・技能の習得も大切だけれども、それと共にInputした情報を自分の中で再構成してOutputできる力が一層求められるというお話をしてくださいました。



折しも、翌11月18日土曜日、6年生の難波花衣さん、宮城柚良さん、橋本蒼依さんの3名は、本校SDGs委員会を代表し、(公財)山梨県緑化推進機構主催令和5年度山梨県緑の活動発表会に参加し、緑化活動等に関わる本校の取り組みを、約10分間に渡り発表しました。私はSDGs委員会担当の小笠原莉玖教諭と共に引率者として同会に参加しました。県内4林務事務所から推薦のあった4校(3小学校・1中学校)のTopをきって、一番最初に登壇した3名。恩賜林記念館という不慣れな会場で、しかも見知らぬ大人を相手にOutput(発表)は、とてもプレッシャーがかかったと思います。しかし、3名は普段通り、むしろそれ以上に上手に発表を行いました。

他の2小学校は、担当教師が発表児童の側に付き、パワーポイントの操作を行っていました。場合によっては、発表後に行われた質疑に於いて、担当教師が児童に代わって回答する場面がしばしば見受けられました。ところが、3名は、発表のみならず機械操作も自分たちだけで分担して行い、質問にも同様に自分たちの力で答えていました。この頼もしさ、立派さに、私は思わず目頭が熱くなりました。

押原小の子ども、昭和の子どもはかくありがたい。また、このような子どもたちを育てていかねばと、子等の発表を見ながら、強く思いました。

【裏面も御覧ください】

CS『押原地区 ふるさと探検』

山梨県には、244の小中学校（小165，中79）があります。このような中で、本校は県内で2番目にコミュニティ・スクールとなりました。今年で、10年目。県内では老舗の学校です。そのようなこともあり、本校は今年から、これまた、県内の他校に先駆けて「地域学校協働活動」と、これまでの取り組みから1段階Gear-upした取り組みを推進しています。ここでのねらいは2つ。「地域と共にある学校」の創造と「学校を核とした地域づくり」です。このような2つのねらいの下、11月11日に、押原小学校及び押原地区地域学校協働本部の共催によるCS『押原地区 ふるさと探検』を開催しました。

当日の朝7時。私は、校庭に出て、ある放送が、押越区のスピーカーから流されるのを待っていました。程なく、押越区の区長望月様のお声で、ふるさと探検の実施を告げる放送が流れました。その時、私は、昨年はほぼ学校単独で行っていた「ふるさと探検」を、今年は押原地区4区のお力をお借りする中で協働して実施できる喜びをかみしめました。

当日は、前日の雨が上がり好天の中で実施できる予定だったのですが、天候が完全に回復せず、あいにく風が吹く中での開催となってしまいました。

にもかかわらず、区長様方や安協の皆様、また地域の皆様方の御協力を得ながら、親子・家族の触れあいが確かめられる、ほのぼのとした学習の場に仕立てていただきました。

2回目となる今回は、各家庭に於いてもテーマを設定したり、コースを考えたりと、工夫の見られる探検となったようです。更に主催する側も、防災の視点を取り入れ、「想定浸水深」を示す電柱を見学箇所に設定したり、探検終了後の集合場所を各地区の緊急避難場所にさせていただくなど、昨年と全く同じにならないように工夫もさせていただきました。

学校が投げかける行事が「地域と共にある学校」の創造に寄するだけではなく、「学校を核とした地域づくりにも」役立てられるよう、今後とも地域学校協働活動の取り組みを推進して行きたいと思っております。



【blogより】子どもたちが一生懸命に学んでいる

全ての教員を対象とした人事評価制度の一環で、過日は、3年3組（斎藤絵里香学級）を訪問し、国語科で修飾語を学ぶ授業を拝見しました。落ち着いた雰囲気の中、先生が板書をし始めると、子どもたちの鉛筆が一斉に走り出します。

これだけ真剣に学習してくれると、保護者はとっても嬉しいと思っております。私はつつい、何人もの子どもの頭を撫でてしまいました。



【12月】の主な予定

- 1日（金） クラブ活動
- 4日（月） CSクリーン活動(昼)
- 5日（火） 4年校外学習（杉浦医院）
- 6日（水） 6年制服学校提出締め切り
- 7日（木） スクールカウンセラー来校
- 8日（金） 特別日課6校時
- 11日（月） 5年収穫祭
6年制服採寸（中休み）
- 12日（火） ドッジボール大会（奇数学年）
- 13日（水） ドッジボール大会（偶数学年）
- 14日（木） 運動能力向上プログラム1年，2年
スクールカウンセラー来校

- 20日（水） 児童地区集会
集団下校
給食終了
- 21日（木） 3時間授業日課
- 22日（金） 終業式

— 冬休み —

- 1月9日（火） 始業式
- 10日（水） 給食開始



*詳細は学年だより等で、御確認ください。

【本校ホームページ内で、日々blog更新中】